

入居企業紹介 その226

SICに入居されている企業様をご紹介します。

“「測る」を通して社会課題の解決に貢献する!!”



【入居企業プロフィール】

株式会社シルクリ技研
代表取締役CEO 山崎 浩樹(やまざき ひろき)

山崎さんは北海道の釧路出身で横浜市在住です。小学生の頃、冬場はグラウンドの一部を生徒と先生でスケートリンクを作っていたそうで、意外にもスキーは大学生になって初めて体験したとのこと。室蘭工業大学に進学して、寮の先輩から強い勧誘を受けたことから4年間、ハンドボール部に所属していました。就職は道内を希望していましたが、研究開発部署の所属で、勤務地は川崎となりました。開発者として仕事が趣味と言えるような日々を約40年送ってきたと振り返ります。最近は愛犬(マルチーズとトイプードルのミックス“マルプー”)と毎日欠かさず散歩を楽しんでいます。田園風景があって、サイクリングコースにも入るルートを歩くのはリフレッシュの時間となっていますが、つつい仕事のことも頭をよぎってしまうという山崎さんです。

【長年の研究開発職を経て起業、SIC入居へ】

臨床検査装置の研究開発部署で山崎さんに最初に与えられたテーマは、血液中のマグネシウムを測定するイオンセンサや尿酸測定のセンサ開発。大学時代に「粒子の攪拌による浮遊」について研究し、粒子と流体の特性依存に関する解析を行っていた経験が実際の研究開発に重なりました。会社には要素技術の検討から市場調査・分析、初期ロットの製造までを製品開発部門が関わっていくという方針があり、そのおかげで技術に偏り過ぎない、市場ニーズを捉えた製品開発のあり方を身に着けることができました。電気化学センサに関する学術的な指導を複数の大学の先生方に受け、研究生として大学に受け入れられることとなり、母校の室蘭工業大学で博士後期課程を経て博士学位を取得することにもつながりました。やがて臨床検査市場は自動化への対応が進み、パーソナルケアのための簡易測定具も市場に出回り始めます。定年退職が近づいたころ、業務引継ぎ

と新規事業立ち上げの目途が立ったタイミングで、山崎さんがチャレンジしたかったことを事業化すべく、在職中にお世話になった方々からの後押しもあって、2023年4月に起業を果たし、2025年5月にSICに入居しました。

【シルクリ技研の業務内容】

シルクリ技研の事業は、パーソナルヘルスのためのヘルスケアキットに関する「ライフケア事業」、体外検査具に関する「メディカルケア事業」、養液栽培向け施肥管理システムに関する「アグリサイエンス事業」および、要素技術に関する共同研究及びOEM展開で、すべてこれまでに積み重ねてきたセンシング技術がコアにあります。ライフケア事業では既に未病やがん発症リスク状態に焦点を当てた尿を試料として測定する「Pstageシリーズ」をリリースしており、これまでに8000セット以上を販売



販売中のヘルスケアデバイス「Pstageシリーズ」

しています。採尿後にユーザ自身が尿をデバイスに点着し、そのデバイス画像をスマホの専用アプリで撮影し、そのデータをアップロードすることで、がん発症のリスク判定や体の酸化状態に関する情報がフィードバックされる一連のサービスを、自己健康管理ツールとして拡販していきます。ライフケア製品の他、臨床検査用のメディカルケア製品や水耕栽培用養液の肥料成分計測機器といったアグリサイエンス製品の開発も並行して進めています。

【これからの目標】

人生100年時代と言われる現代ですが、それだけに自身の健康に気を配らなければならない中で、自覚症状が出る前の初期段階で健康度合いの変化が確認できることが大事だと考えています。強みであるセンシング技術を活かした製品が人や社会に役立てるよう、市場規模の大きさや収益性に捉われず、協業先や協力先と共に発展していきます。

株式会社シルクリ技研

SIC-1 Startup Lab.1211号室

URL: <https://www.silcretech.com/>

※ホームページ内にお問い合わせフォームがあります。



入居企業トピックス

5月の新聞掲載記事紹介(5月26日時点)

メディアに紹介された企業をご紹介します。

ご紹介する記事はSICに掲載していますので、ご覧ください。

またメディアに掲載された場合、スタッフに教えていただくと幸いです。

- | | | | |
|-------|-----------|----------|--------------------------|
| 5月12日 | レボックス株式会社 | かながわ経済新聞 | —LED技術で「受粉システム」構築後押し— |
| 5月12日 | 高瀬総合法律事務所 | かながわ経済新聞 | —顧問弁護士を探している方へ— |
| 5月20日 | 株式会社PXP | 日刊工業新聞 | —カルコパライト薄膜太陽電池 日揮が大量化実証— |

第10回 SIC経営者交流会 開催！

SICでは入居企業の経営者、代表者、責任者の皆さまにお集まりいただき、交流を深めて頂く「SIC経営者交流会」を今年も開催します！この機会に経営者同士、SICスタッフも交えて思う存分語り合いませんか？



7月8日(火) 18時から 橋本駅周辺で開催！

詳細が決まり次第、追ってご案内します。皆様のご参加をお待ちしております。

【お問い合わせ】 大谷(内線：2031)

子どもアントレ 準備・運営がはじまります！

8月5日(火)、8日(金)～10日(日)開催の「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業(通称：子どもアントレ)」。

この事業は大学生スタッフが7月5日(土)から8月12日(火)までSICの会議室Aにて準備・運営を行います。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】 上野(内線：2029)

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業へのご協賛のお願い

本事業は、趣意に賛同くださった多くの皆様からのご協賛により実施されております。

大きな夢を持ち、無限の可能性に溢れた子どもの育成に、皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

さがみはら子どもアントレプレナー
体験事業実行委員会事務局
(さがみはら産業創造センター内)
担当：上野(内線：2029)

【詳細はこちら】



SIC空室情報 (令和7年6月1日現在) ※お気軽に稲垣・大谷までお問合せください

	部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費・消費税込)
SIC-1 Startup Lab.	○スモールオフィスB(17.3㎡)	2	70,620円
	○スモールドライボ(17.3㎡)	1	70,620円

最新の情報はHPをご確認ください。

6月17日まで！

きらぼしベンチャー 研究開発支援事業 助成金について



さがみはら産業創造センター(SIC)及び町田新産業創造センター(MBDA)に入居する中小・ベンチャー企業が行う優れた新技術・新製品に関する研究開発に要する経費に対する助成を行います。

研究開発に取り組む入居企業の皆様からの積極的なご応募をお待ちしています。

なお本事業は「きらぼし事業支援プログラム」※により実施します。

【対象事業】 今後、成長が期待される産業分野において、事業者自ら行う優れた新技術・新製品に関する研究開発

【対象者】 SIC及びMBDAに入居する中小企業又は個人事業者で、新技術・新製品を開発しようとする者

【助成額】 100万円以内

【対象経費】 事業費(専門家謝金、部品・材料費、機械装置・工具器具費、外注加工費、試験・分析費等)、直接人件費、その他の経費

【研究開発期間】 助成決定日から令和8年2月20日まで

【応募締め切り】 6月17日(火)17:00まで

【お問い合わせ】 金澤(内線：2023)

【詳細はこちら】



※きらぼし事業支援プログラムについて

きらぼし銀行は、さがみはら産業創造センターを通じて地域経済の活性化を目指しています。

本事業は、新事業への展開や経営体質強化など、様々な課題解決に取り組む企業や創業者を専門家とともに支援する取組です。

編集後記

山崎さんはライフケアを“人生を健全にまっとうするための情報提供”と話します。神奈川県では高齢者の増加に伴い、健康寿命を延ばす、未病(健康と病気の間を連続的に変化する状態)の改善に取り組んでいます。また、未病の考え方は企業経営にも活用されています。興味のある方は、県の公式サイトをご覧ください。(佐藤)